

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成18年3月16日(2006.3.16)

【公開番号】特開2003-75966(P2003-75966A)

【公開日】平成15年3月12日(2003.3.12)

【出願番号】特願2001-265076(P2001-265076)

【国際特許分類】

G 03 C	1/83	(2006.01)
C 09 B	23/00	(2006.01)
C 09 B	53/00	(2006.01)
C 09 B	55/00	(2006.01)
C 09 B	57/00	(2006.01)
G 03 C	1/035	(2006.01)
G 03 C	1/06	(2006.01)
G 03 C	7/22	(2006.01)

【F I】

G 03 C	1/83	
C 09 B	23/00	L
C 09 B	53/00	A
C 09 B	55/00	A
C 09 B	55/00	E
C 09 B	57/00	Z
G 03 C	1/035	B
G 03 C	1/035	C
G 03 C	1/035	G
G 03 C	1/035	H
G 03 C	1/035	K
G 03 C	1/06	5 0 2
G 03 C	7/22	

【手続補正書】

【提出日】平成18年1月20日(2006.1.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 透明支持体上に、青感性ハロゲン化銀乳剤層、緑感性ハロゲン化銀乳剤層、および赤感性ハロゲン化銀乳剤層の各層を少なくとも1層ずつ有し、かつ非感光性親水性コロイド層を少なくとも1層有するハロゲン化銀カラー写真感光材料において、前記非感光性親水性コロイド層の少なくとも1層が下記一般式[I]で表される染料の固体微粒子分散物を含有し、かつ前記ハロゲン化銀乳剤層の少なくとも1層は、全ハロゲン化銀粒子の投影面積の50%以上を占める粒子が、アスペクト比が2以上の平板状粒子であるハロゲン化銀粒子からなるハロゲン化銀乳剤を含有し、該平板状粒子が、少なくとも95モル%の塩化銀からなり、かつ主平面が{111}面で構成されていることを特徴とするハロゲン化銀カラー写真感光材料。

一般式[I]

D - (X) y

一般式 [I] 中、 D は発色団を有す化合物残基を表す。 X は解離性水素または解離性水素を有する基を表す。 y は 1 ~ 7 の整数を表す。

【請求項 2】 前記一般式 [I] で表される染料が下記一般式 [II] または [III] で表される化合物であることを特徴とする請求項 1 に記載のハロゲン化銀カラー写真感光材料。
一般式 [II]



一般式 [II] 中、 A¹ は酸性核を表す。 Q はアリール基または複素環基を表す。 L¹ 、 L² および L³ は、各々独立に、メチン基を表す。 m は、 0 、 1 または 2 を表す。ただし、該一般式 [II] で表される化合物は、分子内に解離性水素を有する基としてのカルボン酸基、スルホンアミド基、スルファモイル基、スルホニルカルボニル基、アシルスルファモイル基およびフェノール性水酸基、および解離性水素としてのオキソノール色素のエノール基からなる群より選択される基を 1 ~ 7 個有する。

一般式 [III]



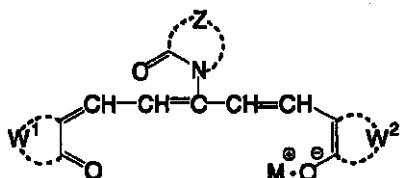
一般式 [III] 中、 A¹ および A² は、各々独立に、酸性核を表す。 L¹ 、 L² および L³ は、各々独立に、メチン基を表す。 n は、 1 または 2 を表す。ただし、該一般式 [III] で表される化合物は、分子内に解離性水素を有する基としてのカルボン酸基、スルホンアミド基、スルファモイル基、スルホニルカルボニル基、アシルスルファモイル基およびフェノール性水酸基、および解離性水素としてのオキソノール色素のエノール基からなる群より選択される基を 1 ~ 7 個有する。

【請求項 3】 前記平板状粒子がコア及びコアより多くの沃化銀を含む環状領域を有し、該環状領域は銀量換算で平板状粒子の 8 ~ 30 % であり、該環状領域の沃化銀含有率が 1 . 00 ~ 5 . 00 モル % であり、かつ該平板状粒子の平均沃化銀含有率が 0 . 10 ~ 0 . 45 モル % であることを特徴とする、請求項 1 または 2 に記載のハロゲン化銀カラー写真感光材料。

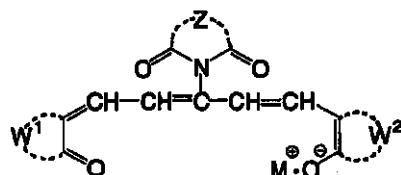
【請求項 4】 ハロゲン化銀乳剤層または非感光性親水性コロイド層の少なくとも 1 層に、更に下記一般式 [V I I a] または [V I I b] で表されるオキソノール化合物を含有することを特徴とする請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載のハロゲン化銀カラー写真感光材料。

【化 1】

[VIIa]



[VIIb]



一般式 [V I I a] および [V I I b] 中、 Z 、 W¹ 、 W² は、各々独立にヘテロ環を形成するのに必要な非金属原子群を表し、 M はカチオンを表す。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

【課題を解決するための手段】

本発明者は鋭意研究の結果、上記課題は下記のハロゲン化銀カラー写真感光材料によって達成されることを見い出した。

すなわち、

(1) 透明支持体上に、青感性ハロゲン化銀乳剤層、緑感性ハロゲン化銀乳剤層、および赤感性ハロゲン化銀乳剤層の各層を少なくとも1層ずつ有し、かつ非感光性親水性コロイド層を少なくとも1層有するハロゲン化銀カラー写真感光材料において、前記非感光性親水性コロイド層の少なくとも1層が下記一般式[I]で表される染料の固体微粒子分散物を含有し、かつ前記ハロゲン化銀乳剤層の少なくとも1層は、全ハロゲン化銀粒子の投影面積の50%以上を占める粒子が、アスペクト比が2以上の平板状粒子であるハロゲン化銀粒子からなるハロゲン化銀乳剤を含有し、該平板状粒子が、少なくとも95モル%の塩化銀からなり、かつ主平面が{111}面で構成されていることを特徴とするハロゲン化銀カラー写真感光材料、

一般式[I]

$$D - (X)_y$$

一般式[I]中、Dは発色団を有す化合物残基を表す。Xは解離性水素または解離性水素を有する基を表す。yは1~7の整数を表す。

(2) 前記一般式[I]で表される染料が下記一般式[II]または[III]で表される化合物であることを特徴とする(1)項に記載のハロゲン化銀カラー写真感光材料、

一般式[II]

$$A^1 = L^1 - (L^2 = L^3)_m - Q$$

一般式[II]中、A¹は酸性核を表す。Qはアリール基または複素環基を表す。L¹、L²およびL³は、各々独立に、メチル基を表す。mは、0、1または2を表す。ただし、該一般式[II]で表される化合物は、分子内に解離性水素を有する基としてのカルボン酸基、スルホンアミド基、スルファモイル基、スルホニルカルボニル基、アシルスルファモイル基およびフェノール性水酸基、および解離性水素としてのオキソノール色素のエノール基からなる群より選択される基を1~7個有する。

一般式[III]

$$A^1 = L^1 - (L^2 = L^3)_n - A^2$$

一般式[III]中、A¹およびA²は、各々独立に、酸性核を表す。L¹、L²およびL³は、各々独立に、メチル基を表す。nは、1または2を表す。ただし、該一般式[III]で表される化合物は、分子内に解離性水素を有する基としてのカルボン酸基、スルホンアミド基、スルファモイル基、スルホニルカルボニル基、アシルスルファモイル基およびフェノール性水酸基、および解離性水素としてのオキソノール色素のエノール基からなる群より選択される基を1~7個有する。

(3) 前記平板状粒子がコア及びコアより多くの沃化銀を含む環状領域を有し、該環状領域は銀量換算で平板状粒子の8~30%であり、該環状領域の沃化銀含有率が1.00~5.00モル%であり、かつ該平板状粒子の平均沃化銀含有率が0.10~0.45モル%であることを特徴とする、(1)または(2)項に記載のハロゲン化銀カラー写真感光材料、及び

(4) ハロゲン化銀乳剤層または非感光性親水性コロイド層の少なくとも1層に、更に下記一般式[VIIa]または[VIIb]で表されるオキソノール化合物を含有することを特徴とする(1)~(3)項のいずれか1項に記載のハロゲン化銀カラー写真感光材料、